

福祉は笑顔を支える仕事！



▲講演をする安原さん



◀実際の介護の様子 (イメージ)

我々は、7月11日に本校で実施されたキャリアガイダンス「福祉の仕事とは」に参加し、滋賀県社会福祉協議会と滋賀県介護・福祉人材センターに所属する 安原伸彦（やすはらのぶひこ）さんに、介護士・福祉士の仕事について話を聞いた。

講義が終わった後、我々は安原さんに独自に取材をすること

たくさんあるぞ！福祉の仕事！

講義では、福祉の仕事の種類や役割、必要なスキルや資格についての詳細な説明が行われた。安原さんは、福祉の重要性とその役割を説明し、社会の中で困難を抱える人を支える仕事の重要性を強調された。また、福祉の分野で働くことのやりがいや喜びについても実例を交えて話してくれた。さらに、講義では、様々な福祉の職業についての具体的な紹介や、介護士やソーシャルワーカー、福祉施設の管理など、様々な福祉関連の職業について説明があった。各職業の役割や必要なスキル、資格取得の方法が詳しく説明されるなど、将来の進路選択に役立つ情報が提供された。

また、講義の中では福祉の分野での活躍事例や成功したキャリアパスについての紹介もあり、福祉の仕事に興味を持つ生徒たちは、成功した福祉の専門家の経験談やアドバイスを通じて、自分自身の将来像を描くことができたのではないかと、福祉の分野に対する理解と関心を深めることのできるこの講義は、わたしたちにとって、自身の進路選択において福祉の分野を考える良いきっかけになった。

編集後記

こういう文字が多い新聞は嫌いですか？

ゆーいち

考えがガラツと変わった！

こうちゃん

編集後記

部である。

安原さんは大学を出た後、現場の介護施設で働き始めた。当時、安原さんには介護の仕事に就く気はなかったという。

しかし、実際に仕事を始めてみると、奥が深くて楽しくなってきた。介護を受けている方が自分の知らない時代のお話をしてくれること、自分が介護をさせてもらうにあたって人となりがよく見えることに魅力を感じ、本格的に介護士として

の仕事をはじめたことである。

介護の仕事は、介護を受ける方に対して介護士が何かをしてあげる仕事だというイメージを持たれやすい。しかし、実際は介護士が介護を受ける方に「何かしてあげる」と言う「やらん」という「これだけやって」などと返される。介護を受けている方と介護士が対等な関係になつていたのである。その関係でい

るように感じられ、今の自分の仕事のやりがいとなっていると、安原さんは語る。

福祉の仕事は、もちろん大変なこともあるが、それ以上に高齢者や障がい者、介護を受けている方の笑顔をそばで支えることができる。

最後に、これから福祉の道に進もうと考えている人に一番伝えたいことをお聞きすると、「福祉に對する負の先入観を持たないでほしい」と答えて下さった。

安原さんからのメッセージ

僕は高校生の時、勉強は好きじゃくて、部活に熱中していました。そこでたくさん仲間、友達ができたんですけど、高校で知り合った友達っていうのは、今でも一番付き合ひが多いです。悩みがあるときとかも、ちゃんと黙って話を聞いてくれますし。そういう時に、友達って大事ななあと思います。何か悩んだときは友達に相談することが重要だと思いますね。なの



で皆さんには、
とにかく友達を
いっぱい作って
楽しんで学校生
活を送ってほし
いと思います。